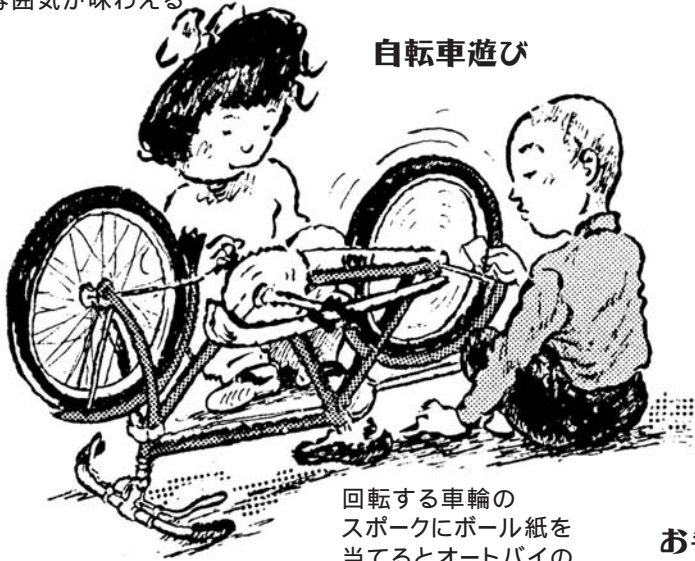


子供の遊びA

逆さに置いた自転車のペダルを回すだけ、これだけで"かき氷"の雰囲気味わえる



自転車遊び

回転する車輪のスポークにボール紙を当てるとオートバイの排気音に似た音ができる



おはじき



又のぞき

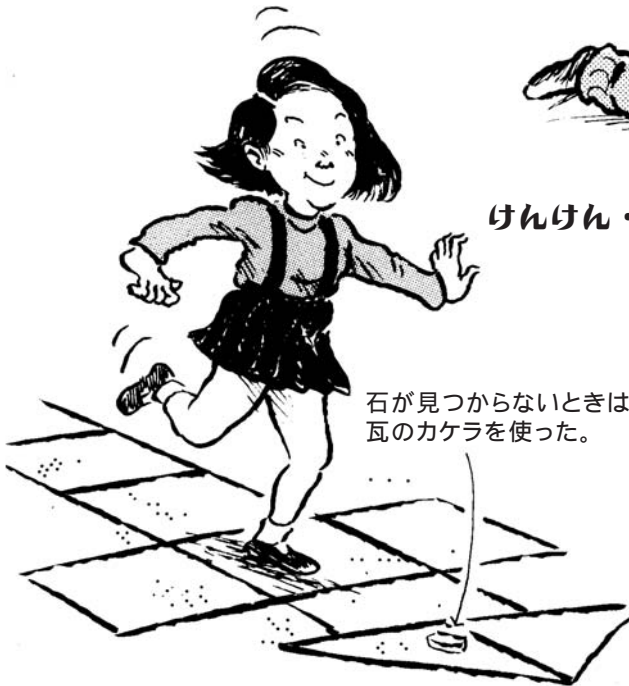


股のぞき景色がいつもと違って見える

お手玉



けんけん・石けり



石が見つからないときは瓦のカケラを使った。

かけいし(書き石)で描く



平べったい石を胸に乗せて運び、障地の中に、うまく落とす



子供の遊びB

下駄による天気占い
「あーした天気になーれ」

かんけり



いじめられっ子は徹底的に「オニ」を続けさせられる



かごめ



材木置き場は隠れ家造り、
鬼ごっこなど拾好の
遊び場になった

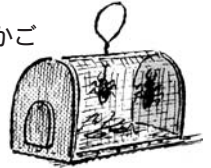


セミとり



トンボ捕り

虫かご



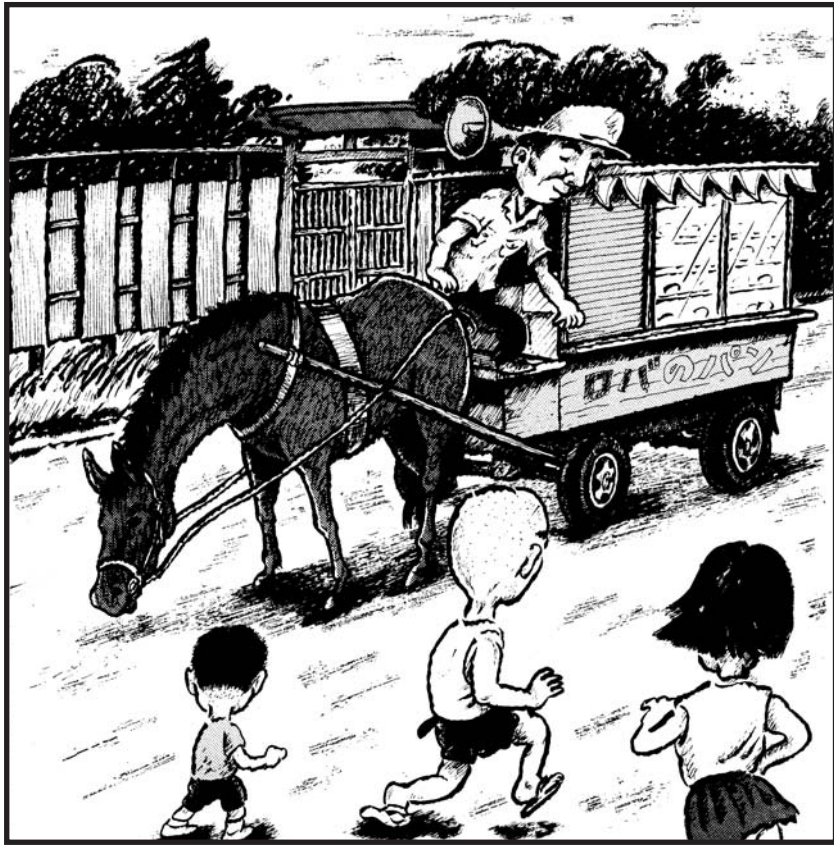
自転車リムの
輪まわし

ガンマン(ごっこ)
コルク空気銃

チャンバラ(ごっこ)
はちまきは荒木又右工門



ロバのパン



軽快ではあるが、決して快いとはいえない雑音だらけの、擦り切れたレコードで音楽を流しながら、ロバのパン屋はやってきた。長栄軒とか三日月パンの馴染みの味に比べ、原料が玄米と思われるそのパンは、子供の口にはおいしいとはいえず、値段も少々高かった。

しかも、ロバのパンと称しながら、ロバを使わず年老いた大きな馬に荷車を引かせての商いである。

そんな矛盾を越えて子供たちを魅きつけたのは、あのテーマソングだった。ノイズだらけで全く不鮮明な舌だったが、詞はともかくメロディーだけは今でも完全になぞることが出来る。ロバのパンのCM以上の名作を、今もって知らない。

数年前、ロバのパン屋がタモリの深夜ラジオ番組で話題になった。驚いたことに全国津々浦々から投書が寄せられていた。単に地元の狭い地域の現象ではなかったことを、この時初めて知った。

馬こそ使わなくなったが、現在でもミニ・パンで営業が続けられ、音楽も健在である。マクドナルドやモスバーガーのフランチャイズ方式は有名で、おおよそのシステムは聞き及んで知っているが、これほど知識、情報が質、量ともに豊富で溢れているというのに、ロバのパンの起源、歴史、仕組み等の調査報告は聞いたことがない。

こうしてみると、後世に伝えるために「団塊の世代」が調査、研究しておきたい課題は数多い。

蚊 帳



ハエは確かに少なくなつたが、蚊には相変わらず悩まされている。

実家の押し入れの隅々まで探したのだが「蚊帳」が見つからない。最後に見たときには、新品同様だったはずだ。

アルミサッシが普及し、網戸が蚊帳にとつて替わり、寝苦しい夜は、窓を閉めてクーラー。まぎれこんだ蚊は、電気蚊取り器のお世話になつて、熱帯夜にも対策は万全である。

蚊は、蚊帳の網目のちよつとした破れ、ほつれ、布団とのすきま部分からも侵入し、「ブーン」と羽音が耳元にうるさく、眠い眼をこすりながら、「パチン、パチン」と蚊を追つた記憶がなつかしい。

久しく蚊帳の感触を忘れていたが、今夏の盆休みに、家族でキャンプ旅行をした際、子供たちのハシヤギぶりもさることながら、テントの持つ特異な圧迫感に、蚊帳がなつかしく思い出された。

新しい蚊帳は、植物繊維と染料の香りがきつかった。濃緑色の綱のスソの部分が、ところどころ白っぽく変色していたが、そこは睡眠中のよだれによつて脱色した箇所である。

真夏の夜は、布団も枕も生暖かく、何度も寝返りをうっては、蚊帳を抜け出て、ひんやりと冷たい板の間まで移動していたものだが、母がウチワで風を送ってくれる夜だけは、快適に眠りにつくことができた。

■出来事

●NHK テレビ本放送開始(一日4時間 契約数866) ●吉田首相「バカヤロー」解散 ●山田敬蔵
ボストンマラソン優勝 ●伊東絹子 ミス・ユニバース3位「八頭身」が流行語に ●朝鮮戦争 休戦
協定調印 ●奄美群島 日本に返還 ●公衆電話料金5円から10円に ●李承晩ライン問題 日韓
会談決裂

■ことば

●「サイザンス」

■流行歌

●「街のサンドイッチマン」



プロレス・ブーム
印象に残る対戦相手シャープ兄
弟、ルーテーズ、キングコング、
ブラッシー、プリモカルネラ、デ
ストロイヤヤーなど

街頭テレビ プロレスブーム

昭和28年(一九五三)2月1日、NHKが東京地区でテレビ放送を開始した。当時の白米10キロ六八〇円、大学新卒者の初任給八、一九〇円。それに対してテレビ受像機は14インチで約十七万円。一般庶民の手が届く値段ではなかった。

その年の夏頃になると、ビール会社などの提供によって、繁華街にテレビ受像機が備え付けられた。この年の8月28日には民間テレビ(NTV)も本放送を開始し、翌年2月NTVはプロレスリング、力道山対シャープ兄弟を実況中継し、空手チヨップの力道山に人気が集まった。同年(29年)の暮れには、日本選手権をかけた力道山と柔道の木村政彦七段の対決があり、プロレスの熱狂的なブームが始まった。

テレビが本放送を開始して二年後、五万台だったNHKの受信契約数が、その四年後、皇太子結婚の昭和34年四月には百万台を突破した。その三年後には一千万台をあっさり越えた。いまや一部屋に一台の時代、現在のテレビ受像機の普及台数の正確な統計を知らない。普及し始めたテレビを通じて、全国を沸かした力道山も、昭和38年赤坂のキャバレーでヤクザに刺されて39歳で死亡。戦後初の「国民的英雄」にしては、実にあっけない最後だった。

悲劇もブラウン管の中では娯楽と化す。今も昔もテレビは国民に英知ではなく、娯楽を提供することで発展してきた。そのためには多チャンネルと長時間放送で対応するしかない。